

安全データシート

Safety Data Sheet (SDS)

作成日: 2007年5月22日

改定日: 2024年3月29日

クニロン

1 製品名及び会社情報

製品名: クニロン
会社名: 株式会社タイホー
住所: 〒332-0003 埼玉県川口市東領家 2-37-18
担当部門: 研究開発室
電話番号: 048-223-6786
FAX 番号: 048-223-7714
メールアドレス: taiho@taihogroup.co.jp
ホームページ: <http://taihogroup.co.jp/index.html>

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物:	区分に該当しない
	可燃性ガス:	区分に該当しない
	可燃性エアゾール:	区分に該当しない
	酸化性ガス:	区分に該当しない
	高压ガス:	区分に該当しない
	引火性液体:	区分に該当しない
	可燃性固体:	区分に該当しない
	自己反応性化学品:	区分に該当しない
	自然発火性液体:	区分に該当しない
	自然発火性固体:	区分に該当しない
	自己発熱性化学品:	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品:	区分に該当しない
	酸化性液体:	分類できない
	酸化性固体:	区分に該当しない
	有機過氧化物:	区分に該当しない
	金属腐食性化学品:	区分1
	鈍性化爆発物:	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口):	区分4
	急性毒性(経皮):	分類できない
	急性毒性(吸入:ガス):	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気):	区分5
	急性毒性(吸入:粉じん):	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:ミスト):	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性:	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	区分2A
	呼吸器感作性:	分類できない
	皮膚感作性:	分類できない
	生殖細胞変異原性:	分類できない
	発がん性:	分類できない
	生殖毒性:	分類できない
	特定標的臓器全身毒性(単回ばく露):	分類できない
	特定標的臓器全身毒性(反復ばく露):	分類できない
	誤えん有害性:	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性:	分類できない
	水生環境慢性有害性:	分類できない

(注) 上記で記載がない危険有害性は【区分に該当しない】か【分類できない】。

ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：
危険有害性情報：

危険
H290 金属腐食のおそれ
H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H333 吸入すると有害のおそれ

注意書き：

【安全対策】
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。(P301+P330+P331+P312)
皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。ただちに医師に連絡すること。(P303+P361+P353+P310)
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。(P333+P313)
眼の刺激が持続する場合：医師の診断/手当てを受けること。(P337+P313)
汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。(P363)

【保管】
容器を密閉して換気の良い場所で施設して保管すること。(P403+P405+P233)

【廃棄】
内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。(P501)

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分

成分名	CAS番号	濃度	官報整理番号(化審法・安衛法)
塩酸	13548-38-4	1-9%	1-215
フッ化ナトリウム	10026-22-9	1-5%	1-332
界面活性剤	trade secret	1-5%	trade secret
水	7732-18-5	81-97%	局方

4 応急処置

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。ただちに医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合：直ちに水で口をすすぎ、コップ1～2杯の水を飲ませる。医師の指示があった場合のみ吐かせる。医師の診察を受ける。意識のない場合は口から何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてはならない。

応急処置をする物の保護：必要があれば、救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5 火災時の措置

消火剤：製品自身は不燃性。周囲の物質に応じて選択する。

特定の消火方法：消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用する。周辺火災の消火に務め、危険でなければ容器を安全な場所に移す。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、上記を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を避難させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場合の周辺にロープをはるなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項：	漏出物を直接河川や下水道に流してはいけない。
除去方法：	漏出した液は空容器にできるだけ回収する。残りは珪藻土などに吸着させて、空容器に回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

・ 取扱い上の注意

技術的対策：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
注意事項：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。 飲み込まないこと。 眼に入れないこと。
接触回避：	『10. 安定性及び反応性』を参照。
混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。
容器包装材料	国連運送法規で規定されている容器を使用する。

8 暴露及び保護措置

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH
塩酸	設定されていない	5ppm, 7.5mg/m ³	2ppm(上限値)(TLV-STEL)
フッ化ナトリウム	設定されていない	設定されていない	2.5mg/m ³ (TLV-TWA)(2017) (フッ素として)

・ 設備対策：

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具：

呼吸器の保護具：

適切なマスクをすること
適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護：

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具：

適切な眼の保護具を着用すること。
化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。
安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

適皮膚及び身体の保護具：

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策：

取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9 物理的及び化学的性質

・ 物理状態

外観：	液体 (25℃において)
色：	透明
臭い：	特になし
沸点：	データなし
融点：	データなし
pH：	0~1
比重：	1.0~1.2 (25℃において)

・ 溶解度

水：	任意の割合で混合する。
----	-------------

10 安定性及び反応性

安定性：	通常条件下では安定。
反応性：	通常条件下では安定。
避けるべき条件：	強い光、強い加熱
避けるべき材料：	アルカリ、酸、強い酸化剤、強い還元剤
危険有害な分解生成物：	窒素酸化物

11 有害性情報

急性毒性：	飲み込んだ場合有毒のおそれ（区分5） 口、のどを刺激し、場合によってはむかつき、吐き気、腹痛などを催す。
刺激性：	皮膚・眼を強く刺激する（区分2）。
慢性毒性、長期毒性：	データなし
発がん性：	データなし
変異原性：	データなし
催奇形性：	データなし

12 環境影響情報

生体毒性：	データなし
残留性／分解性：	データなし
生態蓄積性：	データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

- ・ 輸送の特定の安全対策及び条件
 - 漏洩に十分注意し慎重に運ぶ、できれば他の物との混載を避ける。
容器の転倒、破損が起きないように注意する。
直射日光水漏れを防止する。
- ・ 陸上輸送情報
 - 国連分類： クラス 8（腐食性物質）
 - 国連番号： 3265
 - Packing group： II
- ・ 海上輸送情報：
 - 国連分類： クラス 8（腐食性物質）
 - 国連番号： 3265
 - Packing group： II
- ・ 航空輸送情報：
 - 国連分類： クラス 8（腐食性物質）
 - 国連番号： 3265
 - Packing group： II

15 適用法令

労働安全衛生法：政令別表第3特定化学物質障害予防規則（第3類物質）	塩酸
施行令第18の2名称等を通知すべき危険物および有害物政令第98号	塩酸
海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（Z類）	塩酸
船舶安全法：危険則第3条危険物告示別表第1腐食性物質	塩酸
航空法：施行規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質	塩酸
港則法：施行規則第12条危険物告示腐食性物質	塩酸
PRTT法（種類一政令番号）：1-283	フッ化ナトリウム
水質汚濁防止法：施行令第2条特定有害物質	フッ化ナトリウム
船舶安全法：危険則第3条危険物告示別表第1腐食性物質	フッ化ナトリウム
労働安全衛生法：施行令第18の2名称等を通知すべき危険物および有害物政令第487号	フッ化ナトリウム
土壌汚染対策法：施行令第2条特定有害物質	フッ化ナトリウム
航空法：施行規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質	フッ化ナトリウム
消防法	非該当

16 その他の情報

・ 参考文献：

安全情報センター Web site GHS モデル MSDS 情報

危険物船舶運送および貯蔵規則（海文堂）

化学品の分類および表示に関する世界調和システム（化学工業日報社）

実務者のための化学物質等法規制便覧（化学工業日報社）

15308の化学製品（化学工業日報社）

化学大辞典（共立出版）

上記記載内容は作成の時点において入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。すべての化学製品の取扱いには細心の注意が必要です。